

「保健体育」（学年体育）学習指導案

1. 日時 令和2年10月13日（火） 第1時限（10:00～11:00）

2. 場所 体育館

3. 学部・学年・組 高学部 第2学年

4. 単元（題材）名 「ティーボール（ボールを打つ楽しさを感じよう!）」

5. 単元（題材）目標

- ①種目の基本的な知識や技能を身につけることができる。【知識及び技能】
- ②バットを使ってボールを打つ動きを工夫して取り組むことができる。【思考力・判断力・表現力等】
- ③ルールを守って友達と協力し合ったり競い合ったりすることの楽しさや喜びを知り、最後まで意欲的に取り組むことができる。【学びに向かう力・人間性等】

6. 生徒観

（略）

7. 教材観

本校高等部の「学年体育」では学年ごとに重点的に取り組むテーマを決めており、今年度の高等部第2学年は、友達と協力したり競い合ったりする楽しさを感じることを目標として「道具を使ったスポーツを楽しむ」をテーマに設定した。今年度は手具を使ったスポーツのうち、バドミントン・ティーボール・ソフトボール・ホッケーを行う予定である。新型コロナウイルス感染予防対策として実施場所の環境を分散型で行う必要があることから、運動場・体育館・教室のいずれにおいても工夫次第では展開できる本単元を設定した。

ティーボールはベースボール型の球技種目のひとつである。野球やソフトボールとは違って投手を設置しない。バッティングティー上に置いたボールをバットで打つので手具の使用に苦手感を持つ生徒でも、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。バットでボールを打つ技能習得には多くの時間が必要であるが、ルールや教材・教具を工夫することにより、運動を楽しむことができる。それ故、生徒たちの前向きな姿勢や自主的な工夫も期待することができる。試合では、攻守がはっきりしていてわかりやすいことや、全員に運動の機会を保障しやすいため、誰にでも活躍するチャンスがある。さらに、歩行が不安定な生徒にとっても、身体の接触が少ない種目なので安全に取り組むことができる点や、生徒の個々の実態に合わせて活動することができる点からも本単元を設定した。

障がい者スポーツ＝アダプテッド・フィジカル・アクティビティー（障がい者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに創られた運動やスポーツ、レクリエーション全般をさす言葉。本来は、一人ひとりの発達状況や身体条件に適應させたスポーツ）の考えを取り入れ、本校オリジナルのルールを作成して実施をする。具体的には、自分が扱いやすいバット（細いバット・太い

バット)を選んでよいこととし、打つ動作を反復して練習を行う。バットの振り方を工夫してボールを打つことの楽しさを教えたい。ゲームにおいては、野球盤形式で行い、チームごとに守備の布陣(一塁打・二塁打・三塁打・本塁打などの表示板をどこに置くのか)を考えさせ、友達と協力し合ったり競い合ったり、作戦が成功したりした時の楽しさや喜びを伝えたい。

8. 指導観

授業では、生徒の興味関心がある教材や教具の工夫を行い、生徒が主体的に活動できるような支援に取り組んでいる。また、可能な限り生徒の自主性を重視し、自信が持てるような授業づくりを日々心掛けている。

体育の授業では、様々な動きを仲間と一緒に行うことで、他者との関わりを広げ、互いを認め合う気持ちや、失敗しても良いから「やってみよう」という気持ちで、苦手なことや新しいことにもチャレンジしてみようとする姿勢を伸ばしていきたいと考える。

集団行動では、クラスごとに並んで集合するなど基本的なことに取り組んでいる。集団行動が難しい生徒には、視覚教材を用意したり、サブの教員が言葉かけを行ったりすることにより全体で活動できるようにしている。準備運動では、ランニングやラジオ体操を行った後、その種目で使う部位を中心にストレッチや補強運動を行う。準備や片付けでは、それぞれの生徒に役割を与えることで、自らの仕事が他者の役に立っていることを感じられるように努めている。

本単元では、簡易ゲームや試合を通してティーボールの基本的な知識を身につけさせたい。ベースボール型の種目はルールが複雑であるが、本校オリジナルの簡素化したルールをつくることによって、種目の基本的な知識やルールを身につけようとする意欲を高めたい。また基本的な技能として、本単元では「ボールを打つ技術」に焦点を絞って取り組む。自分に合ったバットを選び、打つ練習を反復して行い、ボールを打つ楽しさを多く感じられるように努めたい。練習で培った「ボールを打つ技術」をゲームで発揮することができた時、「できた」「楽しい」と感じることができ、協力し合ったり競い合ったりすることの楽しさや喜びを感じることもつながると考える。そのためにも指導者が特に試合の場面で、「いいね」「OK」「ドンマイ」「ナイス」とポジティブな言葉かけを行ったり、ボールを打つ際にアドバイスをしたり補助をしたりする指導・支援を行うことが重要である。

9. 単元(題材)の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①練習方法や試合のルールを理解している。 ②バットを使ってボールを打つ技能を身につけている。	①自分に合ったバットを選び、ボールに当たるように考えて打っている。 ②-a 試合におけるチームの作戦を仲間や教員と一緒に実行している。 ②-b 試合におけるチームの作戦を仲間や教員の指示を聞き、実行している。	①使用する道具の準備・片付けをしようとしている。 ②自分の体調を把握し、安全に留意して活動しようとしている。 ③決まりやルールを守り運動しようとしている。 ④意欲的に授業に参加しようとしている。

	②-c 試合におけるチームの作戦を実行したり、仲間に伝えたりしている。	⑤友達を応援しようとしている。
--	-------------------------------------	-----------------

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全7時間、本時は第6時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	・オリエンテーション (ティーボールとは) ・打つ練習	・ティーボールの説明 動画を見る。 ・実際にバットを使って ボールを打つ。	・動画を用いて興味、関 心を引き付ける。 ・バットがボールに当 たった時に教員が「い いね」と言い、生徒が喜 びを感じられるように する。	A① C③
	2	・打つ練習	・長いバット、太いバ ットのどちらかを選ん でボールを打つ。 ・力いっぱいボールを 打つ。	・バットをボールに当 てることが難しい生徒 には「ちがうバットを 使ってみよう」と提案 する。 ・バットがボールに当 たった時に教員が「い いね」と言い、生徒が喜 びを感じられるように する。	A② B①
	3	・打つ練習 ・簡易ゲーム	・長いバット、太いバ ットのどちらかを選ん でボールを打つ。 ・ねらった場所にボー ルを打つ。	・バットをボールに当 てることが難しい生徒 には「ちがうバットを 使ってみよう」と提案 する。 ・バットがボールに当 たった時に教員が「い いね」と言い、生徒が喜 びを感じられるように する。	A② C①

2	4	・試合について学ぶ	・動画を見て試合のルールについて学ぶ ・ボールを打ったり進塁したりして試合のルールを知る。	・動画を用いて興味、関心を引き付ける。 ・どうすれば得点が入るのか、実戦形式で説明をする。	A① C④
	5	・チームで作戦について考える。 ・練習試合	・打順、攻撃の作戦、守備の作戦をチームで考える。 ・練習試合を行い試合の流れを学ぶ。	・個々の実態に応じて、自己発言しやすいようにする。 ・ホワイトボードとマグネットを使い表示板を置く位置を明確にする。	B② C②
3	6 本時	・作戦を考える ・試合	・打順、攻撃の作戦、守備の作戦をチームで考える。 ・試合を行う。	・ホワイトボードとマグネットを使って表示板を置く位置を明確にする。 ・バットがボールに当たった時に教員が「いいね」と言い、生徒が喜びを感じられるようにする。 ・同じチームの仲間を応援するよう促す。	A② B② C⑤
	7	・作戦を考える ・試合 ・ふりかえり	・打順、攻撃の作戦、守備の作戦をチームで考える。 ・試合を行う。 ・本単元の振り返りを行う。	・ホワイトボードとマグネットを使って表示板を置く位置を明確にする。 ・バットがボールに当たった時に教員が「いいね」と言い、生徒が喜びを感じられるようにする。 ・同じチームの仲間を応援するよう促す。	A② B② C⑤

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・バットを使ってボールを打つことができる。(知識及び技能)
- ・チームの作戦を友達や教員に伝えて実行することができる。(思考力・判断力・表現力)
- ・友達と協力し互いに考え、応援することができる。(学びに向かう力・人間性等)

(2) 本時の評価規準

- ・バットを使ってボールを打つ技能を身につけている。(知識・技能②)
- ・試合におけるチームの作戦を同じチームの仲間や教員と一緒に実行している。(思考・判断・表現②-a)
試合におけるチームの作戦を同じチームの仲間や教員の指示を聞き実行している。(思考・判断・表現②-b)
試合におけるチームの作戦を実行したり、同じチームの仲間に伝えたりしている。(思考・判断・表現②-c)
- ・同じチームの仲間を応援しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度⑤)

(3) 本時で扱う教材・教具

ホワイトボード (1)、マーカー (1)、細いバット (4)、太いバット (4)、各種ベース (1セット)、柔らかいボール (3)、バッティングティアー (1)、得点板 (1)、床に置く表示板 (1 塁打×4、2 塁打×4、3 塁打×1、ホームラン×3、アウト×2) 計 14 個、皿コーン (40)、壁に張る掲示板 (ホームラン×3、ファインプレー×3) 計 6 個
ランニング用三角コーン内、外 (4×2)、CD、デッキ、

(4) 児童生徒の実態と本時の目標

(略)

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
10:00 15分 導 入	○マスク収納・手指消毒 ○集合・挨拶・出席確認・健康観察	T1 : マスク袋を配付し、マスクを収納するように指示を出す。 T2, 4, 5, 6 : マスクを収納しているか確認をし、必要に応じて収納の補助をする。 T3 : 体育館の入り口に立ちアルコールスプレーを使って生徒及び教員の手指消毒をする。 T1 : クラス別に 3 列横隊に整列す	

	を聞く。【3分】 ○本時の説明を行う。【2分】 ○ランニングをする【4分】 ・最初の1周は歩く ・2周目から曲が流れている間走る。 ・教員の合図で歩く。 ・集合の合図で近くにある三角コーンを持って集合する。	るよう伝える。生徒に返事・体調確認を行う。その際、顔を上げて返事するように指示をする。生徒の表情や様子を見る。T2～6に生徒の体調の変化等聞き、欠席者数、見学者数、まだ活動場所に来ていない生徒、教員を共有し、活動時の体制を知らせる。 T2～6:生徒がクラスごとに整列しているか確認し並ぶように言葉かけをする。生徒の体調、健康観察を行う。 T1:説明を聞く姿勢が確認された後、本時の活動内容の流れと目標を伝える。 T2, 5, 6:補助の必要な生徒の支援、言葉かけをする。 T3:生徒○への対応を行う。 T4:生徒○への対応を行う。 (授業開始・振り返り時・体操時) T1:曲が流れている間、走り続けるように指示を出す。生徒の様子ができるように逆走をする。必要に応じて笛を吹きペース配分の目安を伝える。 T2, T5:参加することが難しい生徒がいたら走るように言葉かけをし、一緒に走る。 T3:生徒○または生徒○のそばで走行の補助をする。 T4:生徒○のそばで走行及びストレッチの補助をする。 T6:音楽を流す。その後、生徒○または生徒○及びその他の生徒のそばで走行の補助をする。音楽を止める。	
--	---	--	--

	○ラジオ体操・ストレッチを行う。 【5分】 ○水分補給を行う。【1分】	T1: B組の先頭を基準に体操隊形に開かせる。伸ばすところ、曲げるところを意識するように言葉かけをする。体育委員への指示と補助が必要な生徒への補助をする。 T2, T5: 参加することが難しい生徒がいたら一緒に体操を行う。 T3: 生徒○のそばで体操及びストレッチの補助をする。またはその他の生徒に対応し補助をする。 T4: 生徒○のそばで体操及びストレッチの補助をする。 T6: 音楽を流す。その後参加することが難しい生徒がいたら一緒に体操を行う。 T1: 全員が水分補給を行えるように全体への言葉かけをする。 T2, 5, 6: 補助が必要な生徒に対応し、水分補給の補助をする。 T3: 生徒○に対応して水分補給の補助をする。またはその他の生徒に対応し水分補給を促す。 T4: 生徒○に対応し水分補給の補助をする。	
30分 展開	○集合・説明を聞く。【2分】 ○各チームに分かれてミーティングを行う。【3分】	T1: ミーティングで話し合う内容と準備の流れを説明する。各チームのリーダーに先攻後攻を決めるよう伝える。各チームで話し合いを開始するように指示を出す。 T2, 5, 6: 補助の必要な生徒の支援、言葉かけをする。 T3: 生徒○に対応する。 T4: 生徒○に対応する。 T1, T2: 両方のチームを見てアドバイスをする。	

	確認をする内容 ・打順 ・守備の作戦（床に置く掲示板をどこに設置するかを決める） ・打ち方（力いっぱい打つ・ねらった的に向かってボールを打つ。） ・目標得点 ○試合の準備を行う。【3分】 ○試合を行う。【22分】	T3:B チーム（生徒○に対応する。） T4:A チーム（生徒○に対応する。） T5:A チーム T6:B チーム に対応し、話し合いが進まない時はアドバイスやヒントを与える。 T1：先攻チームは攻撃の準備、後攻チームは守備の準備をするように全体に指示を行う。その後、両方のチーム T2:両方のチーム T3:B チーム（生徒○に対応する。） T4:A チーム（生徒○に対応する。） T5:A チーム T6:B チーム に対応し、試合に必要な用具の準備の補助や言葉かけを行う。 整列時 T1:各チームに整列をするよう指示を出し、整列後挨拶を行う。 T2, 3, 5, 6:移動、整列が難しい生徒の支援をする。 T4:生徒○に対応し整列の補助を行う。 試合時 T1:全体を見てスムーズに試合が進むように適宜、指示を出す。ボールの行方を全体に実況で知らせる。チームの作戦通りに頑張っている生徒に「いいね」「OK」「ドンマイ」「ナイス」などのポジティブな言葉かけを行う。良い応援をしている生徒の様子をほめる。 T2:全体を見て試合の進行のサポートや補助の必要な生徒の補助を	・バットを使ってボールを打つ技能を身につけている。（知識・技能②） ・試合におけるチームの作戦を仲間や教員と一緒に実行している。（思考・判断・表現②-a） ・試合におけるチームの作戦を仲間や教
--	--	--	---

		行う。チームの作戦通りに頑張っている生徒に「いいね」「OK」「ドンマイ」「ナイス」などのポジティブな言葉かけを行う。良い応援をしている生徒の様子をほめる。 T3:生徒○に対応し、バッティングの補助や言葉かけを行う。チームの作戦通りに頑張っている生徒に「いいね」「OK」「ドンマイ」「ナイス」などのポジティブな言葉かけを行う。良い応援をしている生徒の様子をほめる。 T4:生徒○に対応し、バッティングの補助や言葉かけを行う。チームの作戦通りに頑張っている生徒に「いいね」「OK」「ドンマイ」「ナイス」などのポジティブな言葉かけを行う。 T5, 6:移動が難しい生徒やバットを振ることが難しい生徒、参加することが難しい生徒の補助や言葉かけを行う。チームの作戦通りに頑張っている生徒に「いいね」「OK」「ドンマイ」「ナイス」などのポジティブな言葉かけを行う。良い応援をしている生徒の様子をほめる。	員の指示を聞き実行している。(思考・判断・表現②-b) ・試合におけるチームの作戦を実行したり、仲間に伝えたりしている。(思考・判断・表現②-c) ・友達を応援しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度⑤)
15分 ま と め	○片付けをする【3分】 ・設置したものを片付ける	T1:安全にチームで片付けができるように全体に言葉かけをする。 「あなたはこのコーンを倉庫の中に入れてください」と言葉かけをする。 T2, 5, 6:「自分たちの使ったものを片付けましょう」「片付け忘れがないか確認してください」等の言葉かけをする。 T3:生徒○に対応し、一緒に片付けを行う。	

		ルスプレーを使って生徒及び教員の手指消毒を行う。 T6 : マスク袋を回収する。	
--	--	--	--

(6) 教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）
（略）

ルール

★攻撃

- ・ ティーの上に置いたボールをバットで打つ。
- ・ ボールが転がりついた場所の表示板（1 B～ホームラン、アウトなど）に従い進塁する。
- ・ 表示板がない場所に転がりついた場合はアウト。
- ・ ボールが壁に当たりはね返ってもOK。（最終的にボールが止まった場所の表示板に従い進塁する。）
- ・ 空振りやファールやほとんど前に転がらなかった場合はやりなおし。三振アウトはなし。
- ・ 打者が一巡した時点で攻守交代とする。

★守備

- ・ 表示板（1 B～ホームラン、アウトなど）を床に設置する。（チームで設置場所を考える。）
- ・ 打者が一巡した時点で攻守交代とする。

さくせんばん
作戦板

チーム名 ()

だじゅん
打順

1 :	2 :	3 :
4 :	5 :	6 :
7 :	8 :	9 :

もくひょうとくてん
目標得点

_____ 点

しゅび とき お まと い ち
守備の時に置く的の位置

いりぐち
入口

